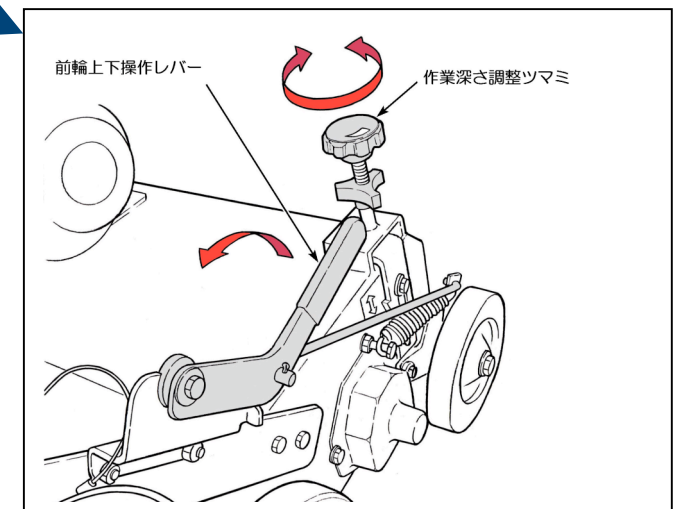
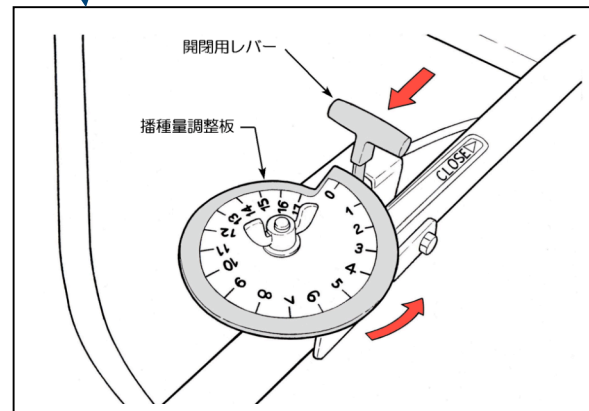
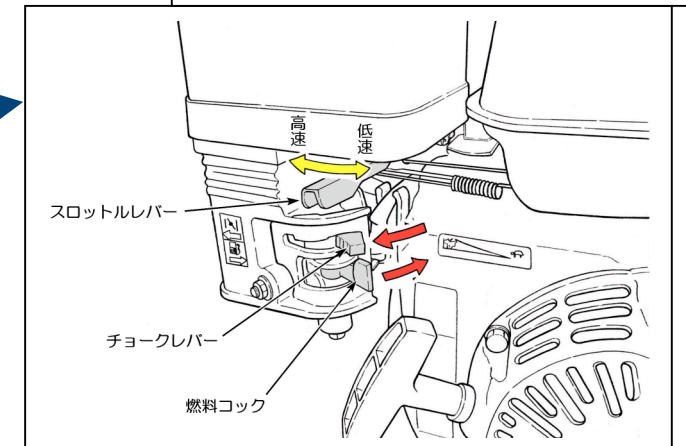
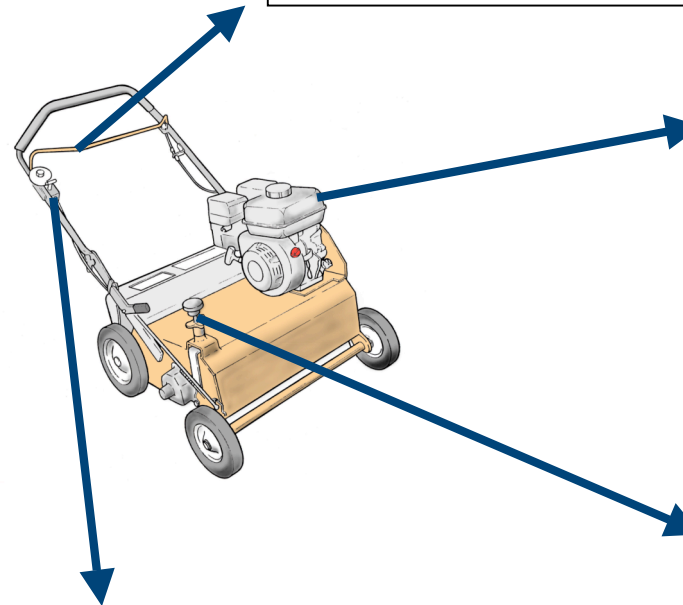
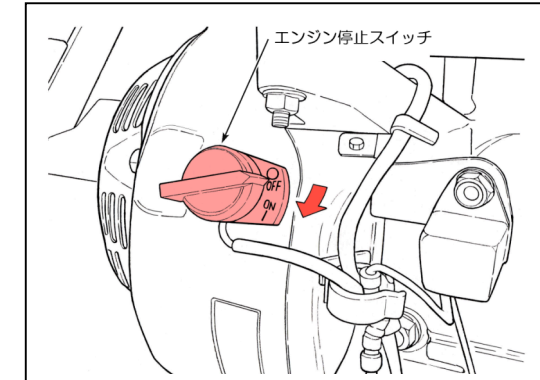
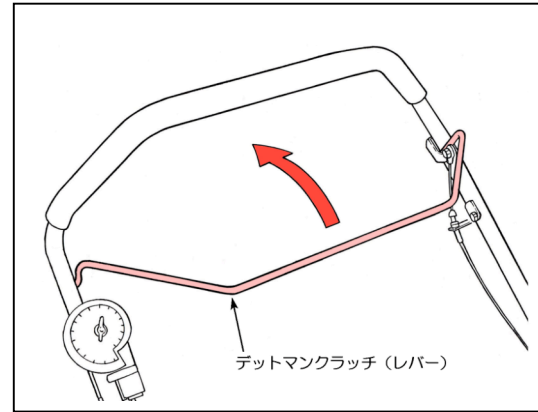


# SDT22 型 デサッチャーの運転方

## 操作手順

- ①燃料コックを開き、エンジン停止スイッチを”ON”位置にする
- ②チョークレバーを閉じる（エンジン始動後開く）
- ③リコイルスタータを引きエンジンを始動する
- ④スロットルレバーでエンジン回転を決める
- ⑤前輪上下操作レバーを引いて、前車輪を上げて作業深さ調整ツマミで作業深さを決める
- ⑥播種作業時はハンドル部の播種量調整板を回して決める（レバー”0”で閉）
- ⑦デットマンクラッチ（レバー）を握り作業する  
※手を離すと停止します



## 注意

- 1.急発進・急旋回はしないでください  
【転倒、転落事故、機械が破損します】
- 2.作業時前方に人がいないことを確認してください  
【草、石などの飛散による怪我の防止】
- 3.点検・整備作業は平坦地でおこなってください  
【事故を引き起こす恐れがあります】

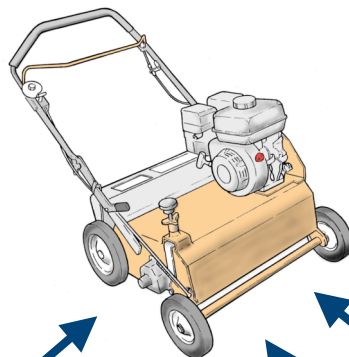
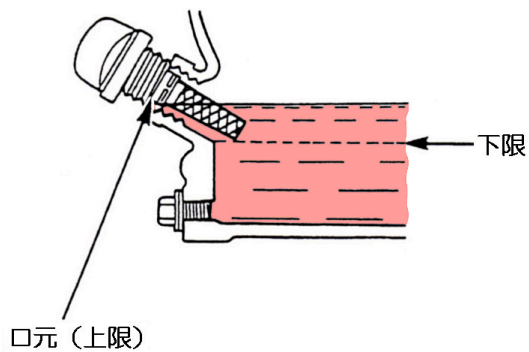
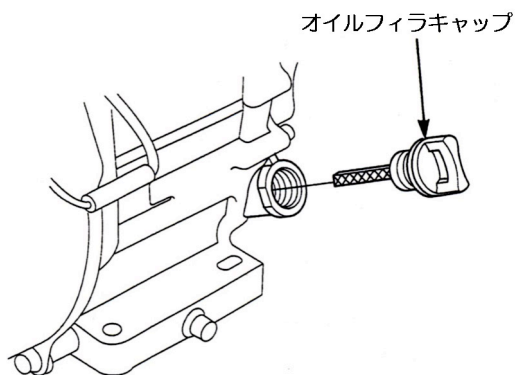
# SDT22 型 デサッチャーの保守点検

## ① エンジンオイル量

【レベルゲージ上限】

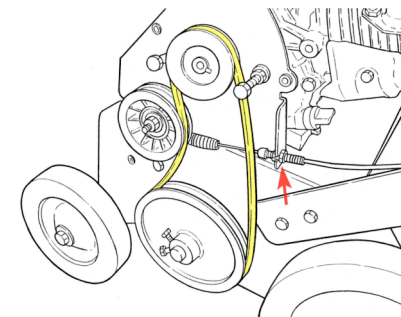
- ・オイル量・・・0.6 ㍓
- ・オイル交換・・・初回 20 時間

2 回目以降 100 時間ごと

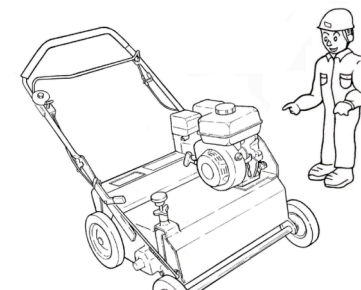


## ② ベルトのスリップ

【ゆるい場合は張ってください】

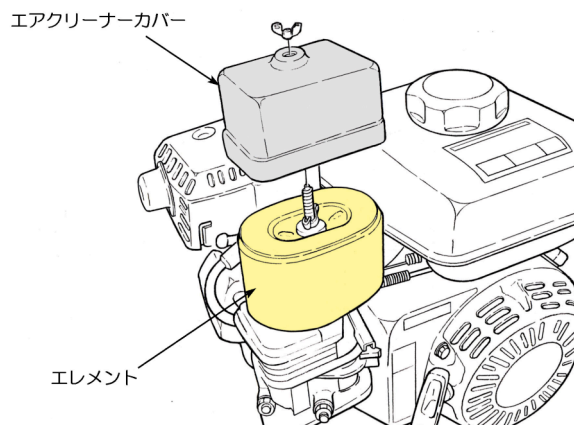


## ③ 各部の点検

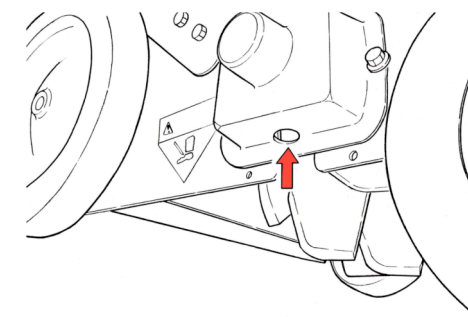


エアクリーナー清掃・・・50 時間ごと

エレメントの交換・・・300 時間ごと

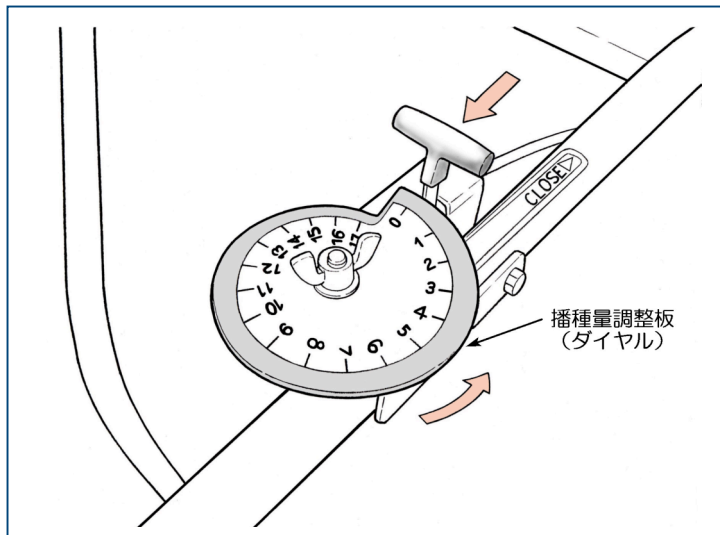
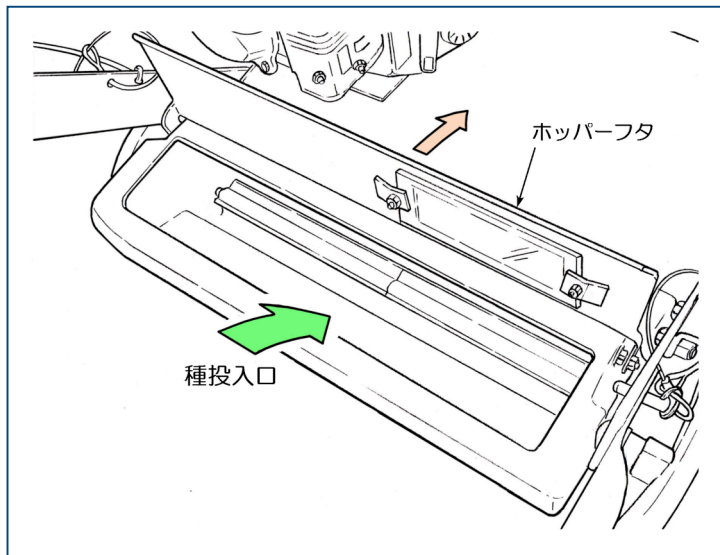


## ④ グリースアップ



# SDT22 型 芝生の播種量について

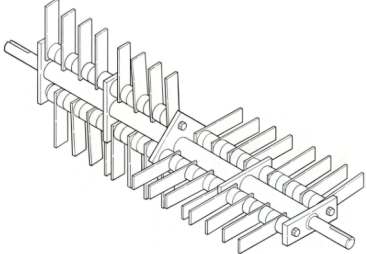
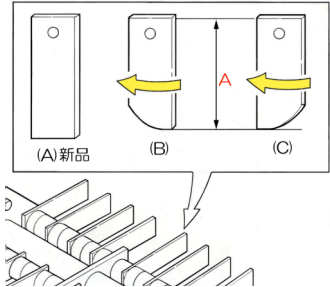
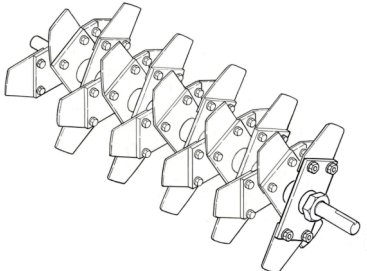
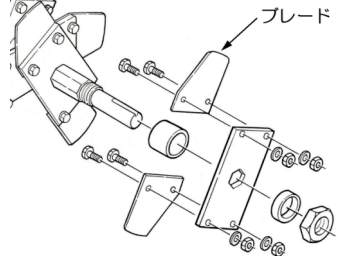
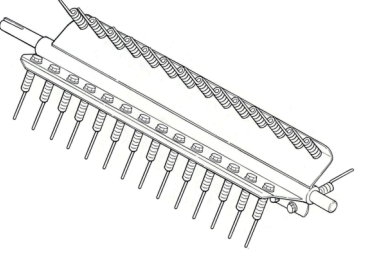
芝生の種類	播種量 (g/m <sup>2</sup> )	ダイヤル (播種量調整板) 設定位置
ペレニアルライグラス	5	7-1/2
	10	9-1/4
	15	10-3/4
	20	12-1/3
ケンタッキーブルーグラス	5	6-1/4
	7.5	7-1/2
	10	8-1/4
ベントグラス	1.3	1-3/4
	2.5	2-1/4
	5	3-1/2
センチピードグラス	1.3	2
	2.5	2-1/2
	5	3
バミューダグラス	5	2
	10	2-3/4
セントオーガスチンググラス	2.5	5
	20	6-1/4



## 注意

1. 上記設定値は播種量の目安です。
2. 作業スピードが速すぎると適正な播種量が得られませ

# SDT22 型 作業機の取扱について

ブレード（作業機）の種類	使用目的	作業の方法	消耗部品の交換目安
<p><u>フレールブレード</u></p> 	<p>サッチを除去して、水・空気・肥料が吸収されやすくなる とき使用する。</p> <p>※サッチとは・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地面と芝の根元の間のできる葉の切れ端・根・茎などの厚い層のことです。</li> <li>・サッチが蓄積すると根づきが浅くなり、虫や病変、冠水や霜に弱くなる。</li> </ul>	<p>《ブレードの深さ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道や道路などの平らな地面に接触する位に設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摩耗して (A) から(B)(C)の状態になったら向き変える。</li> <li>・A寸法が 89mm 以下の場合交換する。</li> </ul> 
<p><u>デルタブレード</u></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに生えている芝生の上から種蒔きするとき使用する。</li> <li>・芝の種を効率的に地中に埋め込み、痛んだ芝を蘇らせるのに最適です。</li> <li>・このブレードは伸びた茎をカットして、土に酸素・水・窒素その他化学物質が浸透しやすくするためのバーチカル作業機として使用でき傾斜地・段丘および粘土質土壌にも有益です。</li> </ul>	<p>《ブレードの深さ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地面から 3.2～6.4mm (最大でも 12.7mm とする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレード最長部が約 64mm (19mm 摩耗) になったら交換する。</li> </ul> 
<p><u>スプリングタイン</u></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一から作り直す必要がない整備された芝生で、サッチ（乾燥部・キノコ類）の除去が必要な場合に最適です。</li> <li>・スプリングタインは枯葉を摘み取り、既にある根を裂いたり傷つけずに芝生から除去することができます。</li> </ul>	<p>《タインの深さ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0.5cm</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌への食い込み量が 6 mm の調整ができなくなったら交換する。</li> </ul> 